

New Dynamic English

ニュー ダイナミック イングリッシュ 4



学習ガイド (中級の上／上級)

モジュール 7

www.dyned.com

目次

はじめに	3
コースの構成.....	4
学習ガイドの使い方.....	5
学習の秘訣	6
レッスンの進め方.....	7
音声認識のレッスンを始める前に.....	9
音声認識機能の使い方.....	10
人生における選択 (Life Choices).....	12
伝染病 (Epidemic).....	9
位置関係と時間の経過 (Space and Time Sequences).....	14
復習 (Review Exercises).....	20
ビデオ会話 (Video Interactions).....	27
付録1：音声認識機能に関する注意事項.....	31
付録2：Verb Markers.....	34
付録3：練習問題の解答.....	36

はじめに

ダイナミックイングリッシュが、より充実して新たに登場！クラスで実証された教授法に基づき、経験を積んだ指導者によって開発されたコースウェアです。このコースは語学を習得するのに最も重要な「聞き取り」に重点を置き、マルチメディアの効果を最大限に活用しています。それぞれのモジュールには、ネイティブの声で録音された数多くの聞き取り練習、さらにディクテーションや穴埋め練習などの様々な形で聞き取りの学習に焦点を置いた練習問題が入っています。それぞれのレベルに適した語彙と話題が慎重に選ばれ、順序立てて構成され、自然で生きた会話を習得できる様に工夫がなされています。

DynEd 独自のインタラクティブなプログラムによって学習者は自分のペースで学習ができます。学習中いつでも繰り返し聞いたり、日本語訳（ニューダイナミックイングリッシュ4を除く）、英文、用語表を画面に表示することが可能です。また、このコースの大きな特徴は音声認識機能を使ったスピーキング練習です。この練習によって、流暢に話す能力が着実に身につきます。更に、録音・音声再生機能を使って、自分の発音とネイティブの発音を聞き比べることもできます。音声認識機能を使用する前にこのプログラムの動作環境をご参照の上、お持ちのコンピュータで音声認識機能が使用可能であることをご確認ください。

コースの構成

レベル

ダイナミックイングリッシュの新シリーズには4つのレベルがあり、それぞれ2つのモジュールで構成されています。ニューダイナミックイングリッシュ1は、初級者を対象としています。ニューダイナミックイングリッシュ2は初級／中級の下、ニューダイナミックイングリッシュ3は中級レベルに焦点が置かれています。ニューダイナミックイングリッシュ4は中級の上、及び上級者を対象としています。

レッスン

ニューダイナミックイングリッシュには、いくつかの異なるタイプのレッスンがあります。「メインレッスン」では、何人かの人物が登場し、それぞれの生活や活動について紹介します。また、季節や気候、環境など一般的な話題について話し合います。「メインレッスン」に続く他のレッスンでは、「メインレッスン」で導入された単語や文法の復習をします。モジュール1の「Question Practice」では、質問文を作成することで理解力をより確かなものとします。モジュール2の「Matrix Game」では「Vocabulary Practice」のレッスンで学んだ語彙を復習します。それぞれのモジュールで学習する「Focus Exercises」は、文法に焦点を当て、「Dictations」と「Fill-Ins」は、表現や文法の細部を確認することにねらいを置いています。これらのレッスンは他のレッスンを学習した後にすることをお勧めします。「Video Interactions」では、電話での応対の仕方など日常起こるいくつかの場面を設定し、状況に適した表現を学ぶと同時に、ビデオの中の人物と実際に会話をすることでスピーキング能力を向上させることができます。

学習ガイドの使い方

この学習ガイドには、登場人物や文型、あるいはその両方を集中的に学習する方法など、それぞれのレッスンの重要な学習事項が紹介されています。まず最初にレッスンを一通り学習し、次に各文毎に文法や語句を何度も繰り返し学習してください。一度にいろいろなことを学ぼうとするのではなく、焦点を定め繰り返し学習することが大切です。

ニューダイナミックイングリッシュは、学習の進度に応じて語彙、表現、文法などの難易度が自動的に変化するように設計されています。ですから、学習ガイドに提示された学習事項に沿って、レッスンの中のそれぞれの登場人物、文法、構文に焦点を絞り学習すると、より学習効果が上がります。

各インタラクティブセッションの復習として、学習した文を暗唱したり書いたりしてください。また、実際の日常生活の出来事などを英語で表現してみてください。最後に学習ガイドの練習問題に取り組み、巻末の解答と照らし合わせてください。

学習の秘訣

毎回 20～45 分間のインタラクティブ学習をお勧めします。最も効果的な学習をするためには各レッスンを何回も、できれば違う日に繰り返し学習することが望ましいでしょう。各レッスンでの学習累積時間とレベルは、Student Records（ユーザーズガイド参照）で確認してください。各レッスンでのレベルが 2.5 以上に達するまで学習してから、次に進んでください。

語学を学ぶことは、楽器を練習するようなものです。時間をかけて何度も練習、反復し、身につけてはなりません。各レッスンでより多くの時間を費やす程、多くのことを学ぶことができます。しかし、楽器の練習と同じ様に、効率良く時間を使わなくてはなりません。学習をする時は常にそのセッションの目標や目的を設定して行くと良いでしょう。そうすることによって、さらに集中した学習ができ、語学習得の長い道のりをより効果的に乗り越えることができます。

レッスンの進め方

(注) プログラムの始め方が分からない時は、ユーザーズ ガイドをご覧ください。
プログラムに慣れるために次の要領で最初のレッスンを学習してください。

1. 各文ごとに一時停止ボタンをクリックしてください。再生ボタンに変わり緑色の矢印が点滅します。
2. 再生ボタンが点滅している状態で繰り返しボタンをクリックしてください。同じ英文をもう一度聞くことができます。
3. 再生ボタンが点滅している状態で翻訳ボタンをクリックしてください。日本語訳を聞くことができます。
4. 再生ボタンが点滅している状態でテキスト表示ボタンをクリックしてください。英文テキストが表示されます。テキストの中のハイライトされた単語をクリックして用語表を参照してください。
5. 再生ボタンをクリックしてください。点滅がとまり、次の文に進みます。

(注) コースウェアに慣れるまでは、気がつかないうちにプログラムが止まった状態になっていることがあります。再生ボタンが点滅していると、プログラムは一時停止しています。プログラムを再開し先に進むには、点滅している再生ボタンをクリックしてください。質問されている時は、回答をクリックしてもプログラムを再開し、先に進むことができます。繰り返しボタン、翻訳ボタン、テキスト表示ボタンをクリックすると、プログラムは自動的に一時停止の状態になります。

	音声録音		繰り返し
	音声再生		一時停止
	テキスト表示		再生
	翻訳		巻き戻し
	終了		早送り

6. 前記のステップを各文でやってみてください。前の文に戻るには、巻き戻しボタンをクリックしてください。レッスンの最初に戻るには、一旦レッスンを終了させてください。
7. 理解力チェックの質問には時間制限があります。残り時間は、コントロールバーの右側に表示されます。回答に時間が必要なときは一時停止ボタンでプログラムを停止するか、繰り返しボタンを使って質問をもう一度聞いてください。
8. 初めの部分の文を何度か聞いた後に、今度は自分で言ってみましょう。巻き戻しボタンを使って最初まで戻ってください。
9. 録音ボタンを使って自分の声を録音してみてください。録音ボタンをクリックするとランプが緑色に変わります。録音が終わったら、音声再生ボタンを押して声を聞いてください。次に繰り返しボタンを押してネイティブの声と自分の声を比較してください。このステップはヒアリングとスピーキング練習に効果的です。文が長すぎて全部言えない時は、最初か最後の部分だけを言ってみてください。それでも難しくて言えない時は、状況をつかめるまで前後の文を何度も聞いてください。
10. それぞれのモジュールを終わらせるには数時間かかります。一度に全部学習するのではなく、20～30分毎に休憩をとることをお勧めします。
11. オプションメニューを使って用語表、学習記録、シャフラーレベルをチェックすることができます（詳しくは、ユーザーズガイドをご覧ください）。

音声認識のレッスンを始める前に

ニューダイナミックイングリッシュで使われている音声認識機能は、最新の画期的な機能です。音声認識機能を有効に使うことは、スピーキングの良い練習になります。

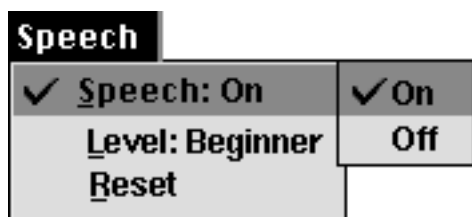
このコースでは、まずメインレッスンをマスターしてから次のレッスンに進んでください。リスニング力を充分養い、単語と構文を充分理解してから音声認識機能を使ったレッスンをする、より効果的な学習ができます。

音声認識機能が使用できるレッスンは、「Question Practice」、「Fill-Ins」、「Speech Practice」、「Video Interactions」です。レッスンに関する詳細はこのガイドブックかコースウェアの中のヘルプメニューをご覧ください。音声認識に関する詳細は、「音声認識機能に関する注意事項」をご参照ください。

音声認識機能の使い方



上の図はスピーチメータです。音声認識機能が音声聞き取っている間は、このスピーチメータが画面に表示されます。スピーチメータが表示されていない時は、音声を入力することはできません。



音声認識のスイッチを入れるときは音声認識メニューから on を選んでください。スイッチを切るときは off を選んでください。



音声認識停止ボタン：文を読み終わった時にここをクリックすると、音声認識機能が止まり結果がすぐ出ます。又、途中で間違いに気付いた時、ここをクリックするとスピーチメータが消えます。



スピーキングボタン：文を言い直す時はここをクリックしてください。スピーチメータが表示されます。



OK ボタン：音声認識後、認識された文とこのボタンが画面に表示されることがあります。文が読み上げた通りに表示されたら、ここをクリックしてください。文が読み上げた通りに表示されなかった場合、スピーキングボタンをクリックしてもう一度言ってみてください。



音声再生ボタン：音声認識されている間は、音声の録音も同時になされています。自分の声を聞きたい時は、ここをクリックしてください。

音声認識機能をご使用になる場合は次のことを確認してください。

1. 音声認識メニューにある難易度を確認してください。「中級」又は「上級」を選択すると的確なスピードと、より正確な発音が要求されます。「初級」を選択した場合、音声認識機能は初級レベルの発音でも正しいと見なすように設定されます。
2. 文が正しいと認識されない場合、同じ言い方を続けないでアクセントの位置を変えたり、文の読み方をいろいろと変えてみてください。速すぎたり遅すぎたりせず、はっきり言ってください。時には、“S he is g oing ...”と言わず、“S he is g oing ...”と短縮形で言ってみたり、逆に“Here’re”ではなく、“Here are”と言う方が良い場合もあります。

(注) アクセントは特に大切です。例えば、fifteen は i にアクセントがある場合と e にアクセントがある場合があります、i にアクセントがあると fifty と間違いやすくなります。音声認識機能は単語の音のパターンを識別します。違う言葉でも同じ音のパターンの場合、その違いを識別できないこともあります。

3. 音声認識機能が動作しない時は次のことをチェックしてみてください。

*スピーチメニューの on/off スイッチが off になっていませんか。

*マイクロホンがこわれていませんか。

*マイクロホンが正しく接続されていますか。

*マイクロホンが口から離れ過ぎていませんか。

*スピーチメータが表示される前に言い始めていませんか。

*ボリュームが低過ぎませんか。

難易度の変更

音声認識メニューの「中級」又は「上級」を選択した場合、よりネイティブに近い発話が要求されます。なかなかうまく認識されない時は、「初級」を選択してみてください。

人生における選択 (Life Choices)

このレッスンでは、人生の中で重要な選択をしなければならない状況にある4人の人達を紹介し、仮定法を使って過去や未来の事柄を述べる方法を学習します。又、as a result, even though, because of, unless 等の接続詞によって導かれる原因と結果の関係を表わす表現方法を学びます。

学習事項 1

Harry と Joan を見てみましょう。接続詞の前後の文章が原因と結果を述べていることに注意してください。



*Harry can't walk **because** he was injured in an accident.*

*Harry was able to work as a translator **because** he was fluent in five languages.*

*The agency she was working for was bought by another company. **As a result**, her job was eliminated.*

*She wasn't sure whether she should take the job or not **because of** the low pay.*

学習事項 2

もう一度 Harry と Joan について見てみましょう。「Harry could have felt sorry for himself.」のように過去の事実と反する仮定や想像の表現に焦点を当て聞いてください。



次の2つの従属節に注意してください:

1. **If** + subj ect ~~had~~ + (not) + V(n) **could/would/might** + **have** + V(n)

2. **Had** + subj ect + (not) + V(n) ~~could/would/might~~ + **have** + V(n)

*If he **had not been injured**, he **would not have had** to use a wheelchair.*

***Had he not studied** hard and learned five languages, Harry **wouldn't have been** able to become a translator.*

Follow-up Practice

最近の過去の事実と反する仮定や想像を文にしてみましょう。

例: *If I **had gotten up** at 7:00, I **would have arrived** on time.*

***Had I gotten up** at 7:00, I **would have arrived** on time.*

学習事項 3

Joe について学習します。彼が株に全財産をつぎ込んだ場合起こり得ることを述べている文をよく聞いてみましょう。従属節で現在形を用いた方が、主節で述べられることの起こり得る可能性が強いことを表わしています。



可能性が大きい:

If + subj ect +V(pres) - > If his investment**fail**...

If his investments *fail*, he **could lose** everything .

可能性が小さい:

If + subj ect +V(d) - > If his investment**failed**...

If his investments *failed/were to fail*, he **could lose** everything .

If he's lucky, he will make enough to retire.

On the other hand, if his investments were to fail, he could lose everything.

If he makes enough money, he may take a cruise around the world.

学習事項 4

Sandra についての文を見てみましょう。会社を売るか否か、それによって起こり得る結果に関する文をよく聞いてください。主節の **will** は、従属節の条件が満たされた場合、起こり得る結果の可能性の強さを表わします。unless は、ある条件が満たされた時にのみ、主節で述べている結果が起こることを表わします。unless は、if...not とほとんど同じ意味と考えてよいでしょう。



*If Sandra **refuses** their offer, the other company **will** compete against her.*

*If they **compete** against her, she'll have to work harder.*

*If she **sells** the company, the new owners **will** control it.*

In fact, unless she agrees to stay on for a year, they won't buy her business.

*In fact, **if** she **doesn't** agree to stay on for a year, they won't buy her business.*

*Sandra won't receive a higher salary **unless** she agrees to sell the company.*

*Sandra won't receive a higher salary **if** she **doesn't** agree to sell the company.*

Follow-up Practice

あなたが週末にしようと思っていることを仮定法を使って述べてみましょう。

例 : *If I finish my homework, I'll go to the movies on Saturday night.*

If Mary can come with me, I will go to the concert in the park on Sunday.

I won't go to the beach unless the weather is warm.

質問文の作成 (Question Practice)

質問文を作ってみましょう。マウスを使って質問文を作るには、語句を正しい順番にクリックしてください。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンを使ってください。間違えた時は、もう一度やり直してください。数回しても正解でない場合は正しい文が表示され同時に読み上げられます。



スピーキングの練習をするには、語句を正しい順番に選び声に出して言ってください。スピーチメータが表示されたら、文をできるだけはっきり言ってください。

原因や理由に関する質問文の作り方に注意してください。

Because of his injury, what could Harry have done?

What is one reason he could become a translator?

Why did Joan lose her job?

仮定法を含む疑問文の作り方に注意してください。

If you were Joan's friend, what advice would you have given her?

仮定法 (Focus on Conditionals)

「Focus on conditionals」を見てみましょう。2つの出来事がどのように関連しているかに注意し、その結果を招いた出来事が起こらなかった場合、どうなっていたかを考えてみましょう。まず、文が読み上げられます。次に、ボックスの中の語句から適当なものを選び、表示された仮定法の文章のブランクの中に移動してください。



事実 : Joe lost customers because a cafe opened up across the street.

仮定法 : If a cafe hadn't opened up across the street, Joe wouldn't have lost customers.

練習問題

A. 人物について述べている文を a~d から選び__に入れてください。

- a. S he used to workat a travel ag ency.
If she had taken the hig her paying
j ob, she wouldn't be as happy now



Harry

- b. S he owns a small printing company.
If she sells her company, she will be
forced to make chang es. S he mig ht
have to lay off some employees.



Joan

- c. He and a g roup of friends are thinking
of starting their own translation company.
Thoug h he wishes he could walk, he is
looking forward to the future.



Joe

- d. He had to close his cafe. If he invests
in the stock market, he mig ht make
enoug h money to retire.



Sandra

B. () 中の適切な単語か語句を選び文を完成させましょう。但し、文法的には正しくてもこのレッスンの内容に一致しているものでなければ間違いです。

1. Sandra would never know what she could have done on her own (*if, unless*) _____ she sold her business to the larger company.
2. Joan accepted the job at Ace Health (*because, even though*) _____ the pay was low.
3. Another coffee shop opened up across the street. (*As a result, Because*) _____, Joe lost some of his customers.
4. (*While, Even though*) _____ Joan was working at the travel agency, her agency was bought by another company.
5. Sandra won't receive 10% of the larger company (*if, unless*) _____ she agrees to sell her business.
6. Harry was able to get a job as a translator (*because, unless*) _____ he was fluent in five languages.

C. 上の文と下の文を組み合わせてみましょう。

1. Had Harry spent his life feeling sorry for himself . . .
2. Joan wouldn't have been depressed . . .
3. Sandra will have to work harder . . .
4. If a coffee shop hadn't opened up across the street . . .
5. Joan took the job at Ace Health . . .
6. If Joe's investments fail . . .

(文の後半部分)

_____ . . . Joe might not have had to close his cafe.

_____ . . . he wouldn't have been a successful translator.

_____ . . . because she wanted a challenge.

_____ . . . if they compete against her.

_____ . . . he could lose everything .

_____ . . . if she hadn't lost her job.

D. 例にならって、if を使わない仮定法の文に書きかえましょう。

元の文 : *If the car hadn't been going so fast, it wouldn't have gone out of control.*

書きかえた文 : *Had the car not been going so fast, it wouldn't have gone out of control.*

1. If Joan hadn't joined the company, it wouldn't have doubled in size.

2. If the other coffee shop hadn't opened up across the street, Joe might not have had to close his business.

3. If Harry had not studied foreign languages he would not have been able to become a translator.

4. Joan's job would not have been eliminated if another company hadn't bought her agency.

5. Joan thinks things would not have turned out so well if she hadn't taken a chance.

E. if を使った仮定法の文に書きかえましょう。

1. Had Joan not liked the idea of working for a small company, she would not have taken the job at Ace Health.

2. Had the factory not had high levels of pollution, it would not have had to reduce its operations.

3. Had Joe's prices been lower, he might not have lost so much business.

4. Had Harry not been injured, he wouldn't have to use a wheelchair.

5. Had Joan not worked so hard, she might not have become a vice-president of the company.

伝染病 (Epidemic)

このレッスンでは、伝染病のように今、世界が抱えている健康に関する問題と、新しい技術がこれらの問題の中で担ってきた役割を話題に取り上げ、原因と結果の関係を表わす様々な表現を学習します。又、画面の左上に表示された文の一部に続く文を考えることで、全体の内容を聞き取る能力と詳細を聞き取る能力とを向上させることを狙いとしています。

学習事項 1

まず最初に、「Our Changing Lives」をクリックしてください。画面上部に “This is about.....” という文の一部が表示されます。その後、続く文を考えながら、述べられることをよく聞いてください。途中で質問が出ますので、その文に続く適切な文を選んでください。

このレッスンの他のセクションも同じようにやってみましょう。



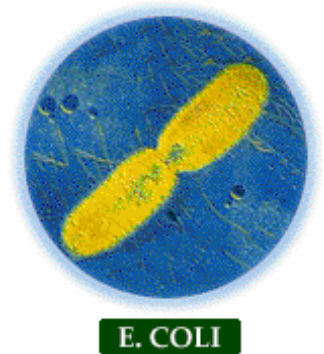
学習事項 2

もう一度「Our Changing Lives」と「Fighting Infections」を見てみましょう。such as, for example, another example のように、例を述べる時の異なる表現に注意してください。

*Many diseases, **such as** pneumonia and small pox, are now under control.*

*Other **kinds of** infection come from bacteria. Tuberculosis is a bacterial virus that has killed millions.*

*The threat of a global epidemic is **another example** of how modernization is bringing us together.*



学習事項 3

今度は「Our Changing Lives」と「Fighting Infections」の中で、最新技術と医学により、私達の生活がどのように変わったかを見てみましょう。現在完了形と過去形の違いに気を付けてください。現在完了形は過去形と比較すると、開発された新しい技術が今もなお私たちの生活に影響を及ぼし続けていることを示しています。

*Better communication and transportation, for example, **have given** us a global economy.*

As a result, in every house there are products from around the world.

*Modern drugs **have made** it easier to treat a cold or get over the flu.*



新しい技術の開発によって生じた結果を表わす時の仮定法の使い方に注意してください。

If your heart wears out, you can get a new one.

If your kidney fails, you can still live, and maybe even receive a transplant.

学習事項 4

「The Adaptability of Life」と「Preparing for our Future」を見てみましょう。人類が存続する上で、適応性がどのように影響するかを把握してください。make や cause 等の原因を表わす単語に注意してください。又、therefore や as a result のように原因と結果の関係を表わす接続詞に注意してください。

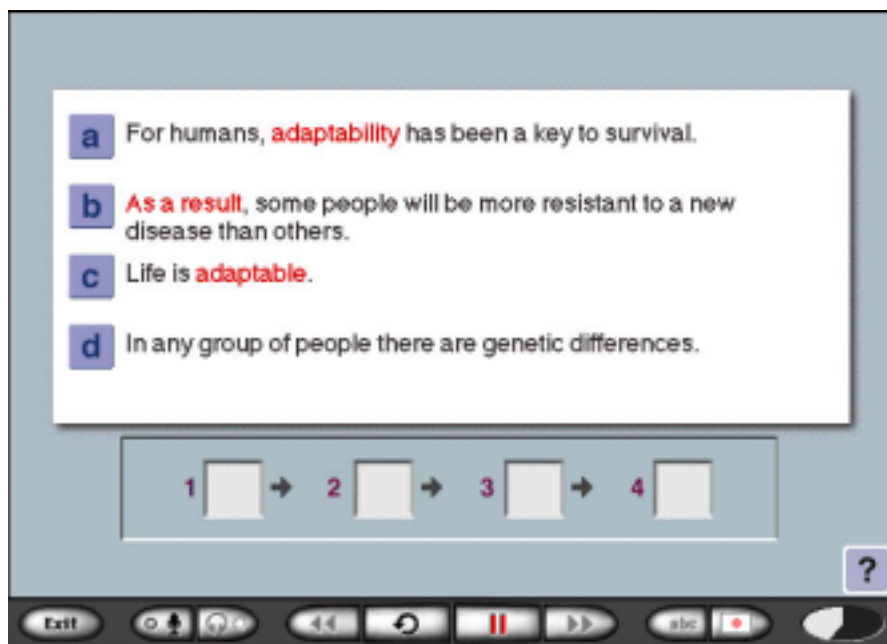
*The adaptability of life also has a bad side. **It makes** it far more difficult to control disease.*

*Diseases don't stop at the borders between nations. **Therefore**, we need to think and act on a global scale.*



Interactive Exercise: 文を正しい順番に並べかえる練習

その文が、先に来る文かそれとも後に来る文かを示す手がかりとなる語句に注意しながら、レッスンをもう一度聞きましょう。下記の(i)～(iii)は、手がかりを示すいくつかの例です。赤で書かれた単語又は語句に注意しながら文頭のアルファベットをボックスに移動し、正しい順番に並べかえてください。



(i) 例を述べる文は、その前の文を更に詳しく説明します。

Some kinds of infection come from viruses. HIV, for example, is a virus.

(ii) therefore や as a result のような接続詞の次は、原因や理由を述べる文が続きます。

Diseases don't stop at the borders between nations. Therefore, we need to think and act on a global scale.

(iii) 代名詞 (he, she, they, etc.) や指示代名詞 (this, these etc.) は、それらを表わす名詞が紹介された後で使われます。

Bacteria and viruses are both life forms. Like human beings, they can adapt too.

練習問題

A. 次の文の（ ）の中から適当な語句を選んでください。

1. Sometimes drugs can be used to fight an infection (*For example, As a result*) _____ , antibiotics are used to fight common infections such as pneumonia.
2. (*Because of, Therefore*) _____ the concern that a worldwide epidemic could break out, medical scientists and public health officials are developing plans to be prepared for such an event.
3. Like human beings, bacteria and viruses also have the ability to adapt (*Therefore, For example*) _____ , it is very difficult to control diseases.
4. Diseases don't stop at the borders between nations. (*Because, Therefore*) _____ , we need to think and act on a global scale.
5. Some kinds of infection come from viruses. HIV (*as a result, for example*) _____ , is a virus.
6. (*Unless, If*) _____ we work together, we can build a better future.

B. () 中の動詞を正しい時制に直してください。

Medical science (~~make~~) _____ progress. If you wear
 _____ out, you can get a new one. ~~Make~~ drug s
 _____ it easier to treat the flu. Many diseases (~~be~~)
 _____ now under control or wiped out entirely.

C. 右の単語は左の語句の一例です。合うものを選んでください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. Virus | _____ polio |
| 2. Viral disease | _____ E. coli |
| 3. Bacteria | _____ antibiotics |
| 4. Bacterial disease | _____ tuberculosis |
| 5. Treatment (drug) | _____ HIV |

位置関係と時間の経過 (Space and Time Sequences)

ここでは、位置関係を表わす表現と時間の経過に関する表現を学ぶと同時に、論理的な考え方を身に付けます。

学習事項 1

「Presentation」をクリックしてください。まず、位置関係を表わす表現に焦点を当てます。同じ文が二度読み上げられ、二度目の文が読み上げられると同時にその位置関係を表わすグラフィックが表示されます。一度目の文を聞いたら一時停止ボタンを使い、自分で位置関係を想像してみてください。その際、下記の例に示したように他の表現を考えてみてください。

例 : *Neither of the children is in the center.*

-> *There are two children on the blocks.*

-> *The center block does not have a child on it.*

(The center block is empty or it has an adult on it.)

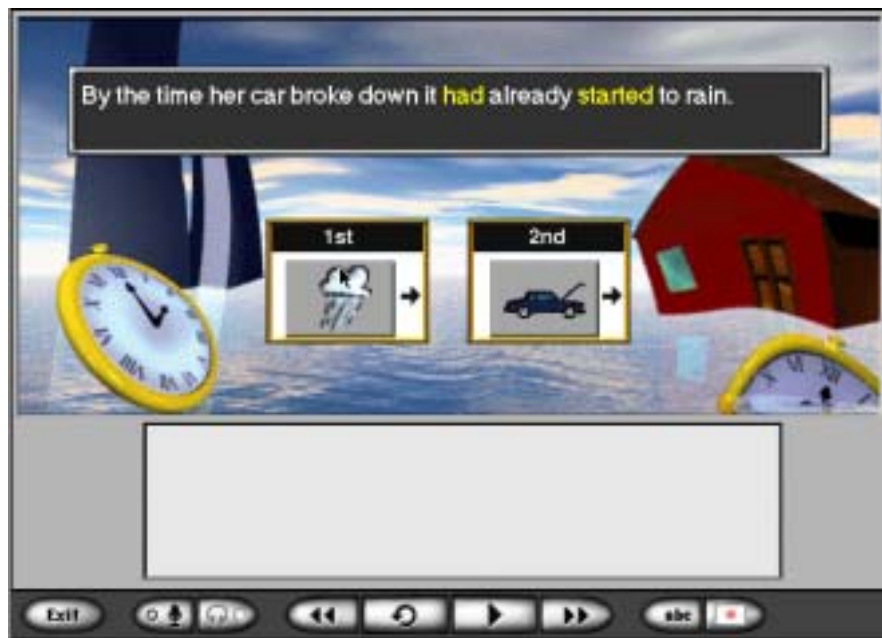


True/False

数文ごとに「True/False」の質問が出ます。読み上げられた文が画面の位置関係と一致すれば「True」そうでなければ「False」をクリックしてください。2回間違えるとその文が示す位置関係のグラフィックが表示されます。

学習事項 2

次は、時間の経過による順番を表わす表現に焦点を当てます。ここでは、会社員の出勤と退社、及び自動車が故障した時の状況の2つの事柄を取り上げます。文が読み上げられその文が示す順番が画面に表示され、もう一度同じ文が読み上げられます。



例 : *Nicole was still working when Sharon left.*

- > 1. *Sharon left.*
- 2. *Nicole left.*

自動車の故障に関しては、いくつかの出来事（車が故障する、雨が降り始める、修理工場に電話する、ガソリンを入れる、牽引車が到着する）が起きた順番を述べています。それぞれの出来事が起きた順は、文章ごとに異なります。

例 : *By the time her car broke down, it had already started to rain.*

- > 1. *It started to rain.*
- 2. *Her car broke down.*

True/False

数文ごとに「True/False」の質問が出ます。画面に表示された出来事の順番を見てください。読み上げられた文の内容が画面の順番と一致すれば「True」そうでなければ「False」をクリックしてください。2回間違えると正しい順番が表示されます。

Interactive Exercise: スピーキングの練習

「Speech Practice」をクリックしてください。スピーキングの練習です。画面に表示されたグラフィックを見てください。グラフィックが示す順番を述べている文を選び、スピーチメータが表示されたらできるだけはつきりと読み上げてください。間違えた場合は、もう一度やってみてください。音声認識を使わずにクリックして回答することもできます。音声認識に関する詳細は、ヘルプメニューか学習ガイドの「音声認識機能の使い方」または、「音声認識機能に関する注意事項」を参照ください。

Interactive Exercise: スペースゲーム

「Space Game」をクリックしてください。文を聞いて述べられた位置にその人物を移動させてください。移動させる時は、人物をクリックしマウスを押したまま移動させてください。該当する人物もしくは位置がない場合は、パスすることもできます。例えば、“When Kathy is in the middle, move her to the far right” という文を聞き Kathy が真ん中にいない時は PASS をクリックします。また、“Don’t put Sharon anywhere except on the far left” という文を聞き、すでに左端に誰がいる時は PASS をクリックします。

(注) unless は if...not とほぼ同じ意味です。

例 : P ut Jimmy on the far rig **hunless** he is in the middle.

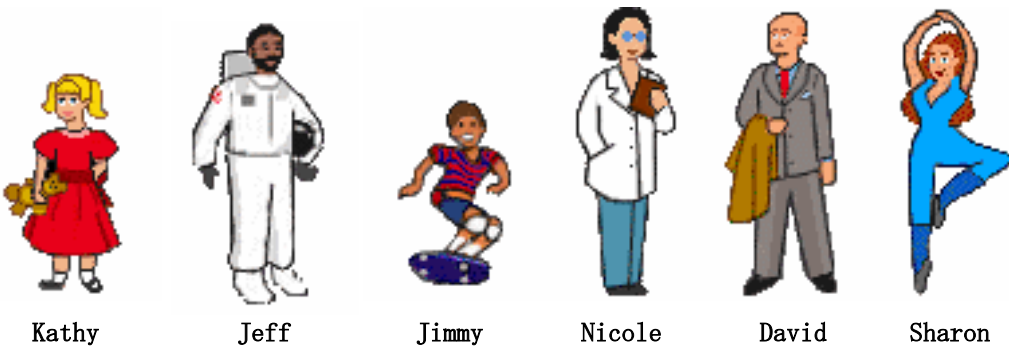
P ut Jimmy on the far rig **htf** he is *not* in the middle.

Interactive Exercise: タイムゲーム

「Time Game」をクリックしてください。文をよく聞いてください。会社員に関する文は出勤時刻と退社時刻を述べています。文が述べる順番に人物又は、出来事を画面中央のボックスに移動してください。ボックスが全部埋らないこともあります。また、2つ目の文を聞き問題を終了させる場合もあります。

練習問題

A. 1～7の文を参考に人物の位置を決定し、名前を__に書き入れてください。1～7の文で述べている位置関係は、1つの可能性しかありません。人物が6人なので__の1つは空になります。



1. None of the adults is in the middle.
2. One of the children is on the far right.
3. Jeff and Jimmy are as far away from each other as possible.
4. If Jeff is on the far left, then Kathy is in the middle.
5. The block between Nicole and Kathy is empty.
6. David is next to Jimmy unless Jimmy is in the middle.
7. Except for Sharon, the people on the right are male.

B. それぞれの文章を読み、順番を決定しましょう。

a) Sharon had just arrived when Jeff came in the door. By the time Nicole got to work, Jeff had already been working for two hours.

出勤時刻の早い順に人物の名前を書いてください。

1. _____

2. _____

3. _____

b) Sharon couldn't leave until after Nicole left. When Sharon left, Jeff was still working .

退社時刻の早い順に人物の名前を書いてください。

1. _____

2. _____

3. _____

- c) Her car had broken down, so she telephoned for a tow truck. Fortunately, it didn't start to rain until after the tow truck arrived.

出来事が起きた順に番号をふってください。

___ She telephoned for the tow truck.

___ It started to rain.

___ Her car broke down.

___ The tow truck arrived.

- d) As she was talking on the telephone, she realized it was beginning to rain. By the time she got gas, the rain had already stopped.

出来事が起きた順に番号をふってください。

___ She got gas.

___ She was talking on the telephone.

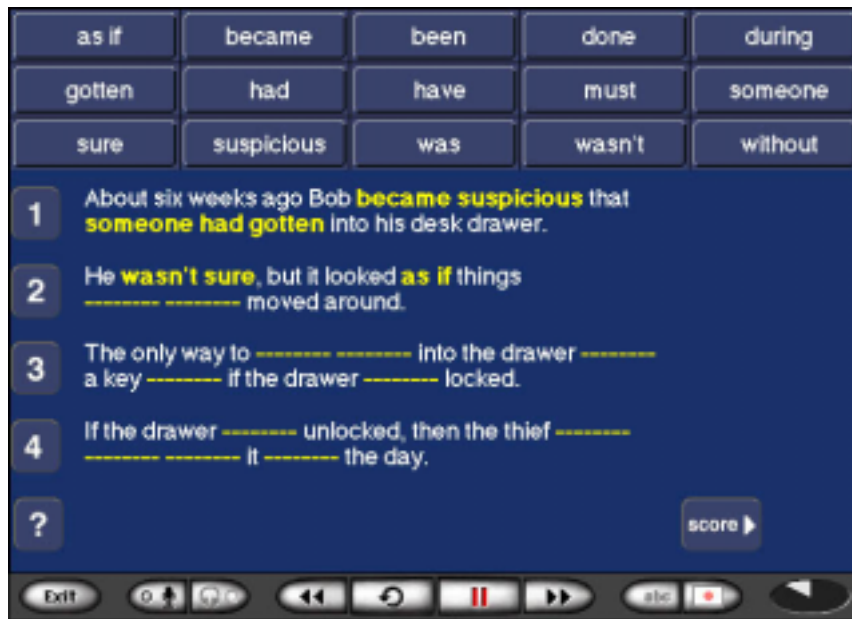
___ It started to rain.

___ It stopped raining .

復習 (Review Exercises)

ディクテーション (Dictations)

このレッスンでは重要な単語や語句に焦点を当てて学習します。最初に、レッスンの中の文章が4つ読み上げられます。次に画面が変わり、画面上部に15の語句が表示されます。画面下部には所々空欄がある文が表示され、読み上げられます。



次の順序に従ってディクテーションを進めてください：

1. 文頭の番号をクリックするか、繰り返しボタンを押して文をもう一度聞いてください。繰り返しボタンを使うと、プログラムは一時停止した状態になるので十分な時間をとることができます。
2. 文中の空欄に当てはまる単語を画面上部にある単語の中から見つけクリックしてください。選ばれた単語が赤い枠で囲まれます。次にその単語の入る空欄をクリックしてください。空欄に選んだ単語が入ります。間違いに気が付いた時は、同じ要領で別の単語をクリックして単語を入れ替えてください。
3. 残りの空欄に単語を入れてください。どの順番で単語を入れてもかまいません。
4. 同じ要領で、2～4も進めてください。

5. 文が完成したら“SCORE”をクリックすると、各文が読み上げられ得点が表示されます。その際、赤で表示された語句は間違いです。
6. 得点が 65% 以下の場合にはもう一度やってみたいかどうか聞かれます。“Yes”をクリックするともう一度最初からディクテーションをすることができます。
7. 得点が 65% 以上の場合は、各文をもう一度聞いて、画面に表示された文を確認してください。赤で表示された単語は間違いです。正しい単語を入れ直してください。
8. 例えば、1 番の文を修正したい時は、まず番号をクリックして文を聞き直してください。次に正しい答えをクリックし、訂正したい文中の単語をクリックします。正しい選択の時は単語が白に変わります。
9. 間違いを直したら、“END”をクリックしてください。同じディクテーションにもう一度挑戦するか、他のディクテーションに進むか聞かれます。また、ディクテーションを終わりにしてメインメニューに戻ることもできます。

穴埋め練習 (Fill-Ins)

1. 文を読んで、空欄に入る正しい答えを、表示された4つの単語から選んでください。その際、画面のグラフィックスを参考にしてください。

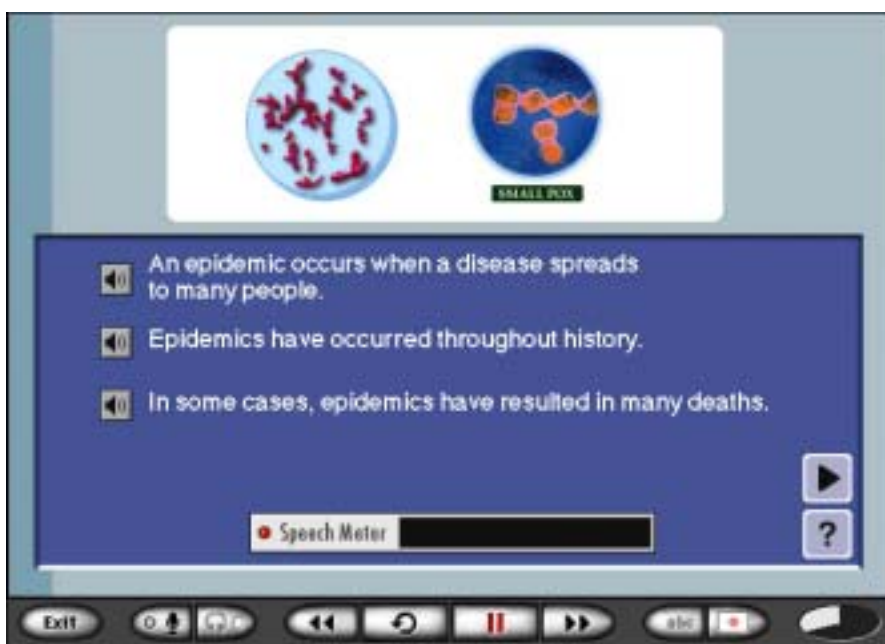


2. 答えをクリックするか、音声認識を使う場合は、答えを空欄に入れた形で文を読んでください。音声認識機能は、文を聞き取るように設定されていますので、選んだ単語だけを読むのではなく文全体を読んでください。
3. 文を読み上げると、その文が画面に表示されます。表示された文が読んだ文と同じ時は、「OK」をクリックしてください。表示された文が読んだ文と違う時は、スピーキングボタンをクリックし、スピーチメータが画面に表示されてからもう一度読み直してみてください。音声認識機能に関する詳細は、コースウェアのヘルプメニューの「音声認識」をご参照ください。
4. 自分の声とネイティブの声を比較する時は、音声再生ボタンを使ってください。発音を聞き比べることはとても大切です。
5. それぞれの穴埋め問題に答えると解答が表示され読み上げられます。黄色くハイライトされた答えをクリックするとその単語に関する説明が画面に表示されます。頑張ってください。

スピーキングの練習 (Speech Practice)

グループ 1 : Sentence Reading

1. 画面に表示された文を一文ずつ読んでください。その際、どんな順序で読んでも構いません。
2. あなたが読み上げた文が認識された時は、その文がハイライトされもう一度読み上げられます。
3. 認識されない時は、もう一度やってみてください。文頭のスピーカボタンをクリックするとネイティブによる正しい発音、イントネーションを聞くことができます。
4. それぞれの文は、何度でも練習することができます。次の画面に進むには画面右下の矢印のボタンをクリックしてください。



グループ 2 : Answering Questions



1. 質問をよく聞き、画面に表示されている文を読んでください。
2. 質問に対する正しい答えを選んでください。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンを使ってください。再生ボタンをクリックすると、プログラムは再開されます。
3. スピーチメータが画面に表示されたら答えを読み上げてください。それぞれの文の前のボックスか文自体をクリックして答えることもできます。
4. 読み上げた文が正しい答えか否かにかかわらず、文が認識された時は文の前のボックスにチェックマークがつけます。
5. 正解の場合は、その文がハイライトされます。

グループ 3 : Conditionals

1. 画面上部に表示された文を良く聞いてください。事実を述べている文です。



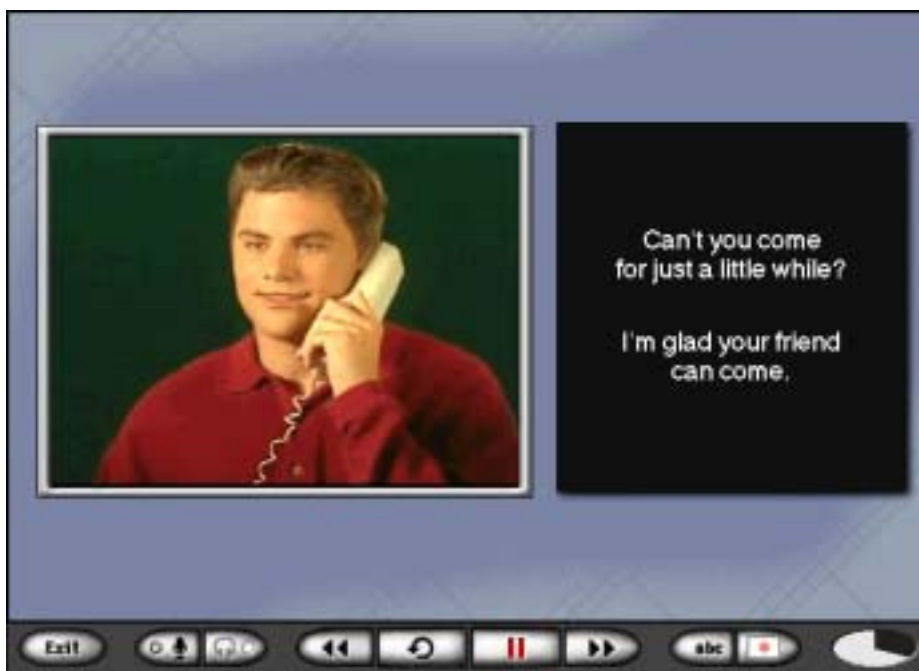
2. 仮定法を用いた文の中から適当なものを選びます。考える時間が必要な時は一時停止ボタンを使ってください。再生ボタンをクリックするとプログラムは再開されます。
3. スピーチメータが画面に表示されたら答えを読み上げてください。文の前のボックスか文をクリックして答えることもできます。
4. 読み上げた文が正しい答えか否かにかかわらず、文が認識された時は文の前のボックスにチェックマークがつきます。
5. 正解の場合は、その文がハイライトされます。

グループ 4 : Speech Quiz

1. グループ 1 ～ 2 の中の問題が 1 5 問アランダムに出ます。
2. 得点は、画面の右上に表示されます。但し、グループ 1 の問題では同じ文を何回でも読むことが出来ますが、最初に認識された時にだけ得点が加算されます。
3. それぞれの問題は、他のグループの答え方と同じです。

ビデオ会話 (Video Interactions)

このレッスンでは、あなたが学習してきた英語を、ネイティブの人々が実際にどのように使っているのかをビデオで紹介します。又、ネイティブの人々と英語で話すのがどのようなものなのかを実際に体験することができます。ここでは、電話での対応の仕方やその他、日常生活の様々な場面で役立つ表現を学習します。



学習は次の要領で進めてください：

1. まず、それぞれのセクションの会話を一通り聞き、大体の内容を把握してください。その際、人物の表情や動作にも気を付けてください。
2. 会話文をもう一度、一文ずつ繰り返し聞いてください。また、テキスト表示ボタンを使って文をよく学習してください。ハイライトされた単語をクリックすると用語表が表示されます。単語の意味や例文などを読み、語彙の学習もしてください。ハイライトされていない語句でわからないものがあれば辞書を使ってください。
3. 今度は文を声に出して言う練習です。最初は文を全部言おうとせず、短い句に区切って言うてみてください。

4. 次は、インタラクティブセッションです。ビデオの中の人物になって会話をします。ビデオスクリーンの右側に文が表示されます。その中から適当なものを選んでください。表示された文の中には、会話のその場面に適切なものが複数含まれていることがあります。スピーチメータが画面に表示されたら、できるだけはっきりと文を言ってみてください。音声認識を使わず、選んだ文をクリックして答えることもできます。
5. 1～4までのステップが終わったら、もう一度復習してください。何度も復習することで語学習得をより確実なものとし、スピーキング力も飛躍的に向上します。

学習事項 1

「Telephone for Business」を見てみましょう。
電話を取る時と伝言を受ける時の表現がほとんど
同じであることに注意してください。

You've got a call on line three. Do you want to take it?

*Could you **take** a message?*

*Do I **have** any messages?*

You've got three messages.



「could」は丁寧な依頼をする時に用います。

Could you take a message? = Please take a message.

Could you send them up to my room please? = Please send them up to my room.

学習事項 2

「Telephone Invitation」を見てみましょう。学習事項1に書かれてある要領で学習を進めてください。Bob が Dawn を説得するのに否定形の疑問文や付加疑問文を使っているのに注意してください。

*I hope you can come to the party. You can, **can't** you?*

*Why **can't** you?*

***Why don't** you bring your friend to the party?*

***Can't** you come for just a little while?*

Follow-up Practice

友達を映画に誘ったが宿題が多いからと断わられてしまった時、あなたならどのように説得しますか。否定形と付加疑問文を用いて説得してみてください。

例 : ***Can't** you finish your homework before nine o'clock?*

学習事項 3

「Interview with an Actor」を見てみましょう。質問をする時、仮定法がどのように用いられているかに注意してください。また、返答をする時に使われる would ('d), might, could の用法に注意してください。返答には条件節を使う必要はありません。



If you weren't an actor, what would you like to be?

***I'd** want to be a musician or a singer.*

If you could live anywhere in the world except where you live now, where would it be?

*I think it **might** be nice to live somewhere really different, like Japan.*

If you were really in trouble, who would you go to for help?

*I guess **I'd** go to my best friend first.*

Follow-up Practice

あなたがインタビューしてみたい著名人はいますか。仮定法を使ってインタビューしてみてください。

例 : *If you could have dinner with any person, dead or alive, who would it be?*

学習事項 4

「Dinner Conversation」を見てみましょう。Gary がこれからの仕事のことを述べる時の *would* の用法に注意してください。

It would be fun working there.

I'd be doing all sorts of things.

And I wouldn't be in an office all day.

Follow-up Practice

あなたにとって理想的な休暇とはどのようなものですか。 *would* を使って言ってみてください。

例 : *I would go snorkeling.*

I would get up late.

学習事項 5

「Hot Seat」を見てみましょう。あなたがビデオの中の人達にインタビューします。インタビューできる事柄は画面の右に表示されます。スピーチメータが表示されたらできるだけはっきり言ってください。音声認識を使わずに文章をクリックしてインタビューすることもできます。



Follow-up Practice

あなたが同じ事柄に関してインタビューされたら、どう答えますか。言ってみてください。

例 : *If I could have any job, I would be a jazz musician.*

付録 1 : 音声認識機能に関する注意事項

指導者の方へ

ダイナミック イングリッシュで使われている音声認識機能は、最新の画期的な機能です。音声認識機能の性能を十分に理解し、この新しい技術を最大限に活用していただく為に、以下の点を念頭においてご指導ください。

1. 音声認識機能を有効に使うことは、スピーキングの良い練習になります。しかし、正確な発音を指導するという事に関しては、まだ技術的に限界があります。音声認識機能を使ったレッスンを繰り返し学習することで確かに発音は上達しますが、発音矯正の為のコースではありません。
2. 制限時間内に答えたり、マイクロホンの正しい使い方に慣れるのに時間がかかります。充分練習してください。
3. マイクロホンは適切な位置に置くようにしてください。近すぎたり遠すぎたりすると正しい結果が得られません。
4. 音声認識機能が正しく動作しない場合は、画面上部の音声認識メニューの中のリセットを使って音声認識機能を設定し直してください。また、一旦レッスンを終了し、メインメニューに戻ると音声認識機能は、自動的に設定し直されます。
5. 音声認識のレッスンを声質の違う学習者が交代で使うと音声認識機能が正しく動作しないことがあります。学習者が代わる時は、音声認識メニューのリセットで音声認識を設定し直すか、一旦レッスンを終了し、メインメニューに戻ってください。

指導にあたっての注意事項

音声为正しく認識されにくい時は、以下のことをご指導ください。

1. スピードを変えて読むようにしてください。
2. 例えば “he is going” を “he’s going” と短縮形で読んでみてください。また逆に、“where’re you from” を “where are you from” と一つ一つ読んでみてください。
3. 何回しても単語が正しいと認められない場合、アクセントを変えてみてください。例えば、fifteen は i にアクセントがある場合と e にアクセントがある場合があり、i にアクセントがあると fifty と間違えやすくなります。
4. 難しい発音の仲間を見つけ出してください。例えば her と are は両方とも r の音で終わります。このような難しい単語は、ネイティブの発音をよく聞くようにしてください。
5. 画面上部にある音声認識メニューの「上級」が選択されている場合、音声認識機能は発音に対してかなり厳しくなり、選択されていない場合に比べると日本人の学習者では、正解率は10～15パーセント低くなります。
6. 音声認識メニューの「上級」が選択され、ネイティブスピーカが妥当なスピードで鮮明に発音した場合、正解率は普通 85～95 パーセントです。初級の学習者で音声認識メニューの「初級」が選択されている場合、最初正解率はだいたい 60～80 パーセントですが、練習することによってかなり上達します。自信がついたら「中級」から「上級」へと進めてください。
7. 音声認識機能を使って学習しているときは、できるだけ録音された自分の声を聞くようにしてください。音声再生ボタンをクリックして自分の声を聞き、次に繰り返しボタンをクリックしてネイティブの発音と聞き比べるようにしてください。音声再生ボタンと繰り返しボタンは何度か使用しているうちに慣れてくるはずです。

学習者の方へ

このコースウェアは、音声認識機能を使って楽しく効果的にスピーキングの練習をすることができます。明確な発音と流暢な話し方を上達させると同時に、重要な文の構成をさらに学習し、語彙を増やします。最初にメインレッスンで録音機能を使って自分の声とネイティブの声を聴き比べる練習を充分してから、音声認識機能を使ったスピーキングの練習をしてください。音声認識機能は、正しいと認められるのにある程度の流暢さと速度を要求されるので、英会話の初歩の方には少し難しいかもしれません。

付録 2 : Verb Markers

ニューダイナミックイングリッシュの用語表には、次の様な 5 つの verb markers が表示されます。

1. **V(d)** lived, ate, came, was, had, went
2. **modal** will live, may eat, can g o
3. **have+V(n)** has lived, has eaten, has been
4. **be+V(ing)** is living , is eating , is g oing
5. **be+V(n)** is eaten, is sold, is converted

上の表で V(d) は過去形、V(ing) は進行形、V(n) は過去分詞を表わします。下の表はその幾つかの例です。

V	V(d)	V(ing)	V(n)
be	was/ were	being	been
work	worked	working	worked
speak	spoke	speaking	spoken
eat	ate	eating	eaten

verb marker は単独で使ったり、組み合わせて使い新しい動詞を作ったりします。例えば動詞 eat を marker 1 に当てはめると ate (He ate dinner) となり、marker 4 にあてはめると、is eating (He is eating dinner) になります。marker 1 と marker 4 を合わせると、was eating (He was eating dinner) となります。もし、5 つのうちのどれにも合わせられないと、単純現在時制 (He eats dinner every evening) という事になります。

次は 2 つの verb marker を組み合わせて使った幾つかの例です。

1+2 V(d) modal	could g o, mig ht come, would sell
1+3 V(d) have+V(n)	d h one, had come, had sold
1+4 V(d) be+V(ing)	was g oing , was coming , were selling
1+5 V(d) be+V(n)	was made, was eaten, were sold
3+4 have+V(n) be+V(ing)	have been living , has been selling
3+5 have+V(n) be+V(n)	have been eaten, have been sold

verb marker を組み合わせて使う時は、小さい数の marker が大きい数の marker の前に位置します。例えば、動詞の sell を marker 3 と marker 5 と組み合わせた場合は、3+5 has been sold というように marker 3 は marker 5 の前に来ます。marker 5 が marker 3 の前に来て 5+3 be had sold となるのは誤りです。

verb marker についての説明は、各 verb marker の用語表の画面を参照してください。

付録 3 : 練習問題の解答

人生における選択 (Life Choices)

練習問題 A

Harry (c)

Joan (a)

S andra (b)

Joe (d)

練習問題 B

1. if
2. even though
3. As a result,
4. While
5. unless
6. because

練習問題 C

e, a, f, d, a, b

練習問題 D

1. Had Joan not joined the company, it wouldn't have doubled in size.
2. Had the other coffee shop not opened up across the street, Joe might not have had to close his business.
3. Had Harry not studied foreign languages, he would not have been able to become a translator.
4. Joan's job would not have been eliminated had another company not bought her agency.
5. Joan thinks things would not have turned out so well had she not taken a chance.

練習問題 E

1. If Joan hadn't liked the idea of working for a small company, she would not have taken the job at Ace Health.
2. If the factory hadn't had high levels of pollution, it would not have had to reduce its operations.
3. If Joe's prices had been lower, he might not have lost so much business.
4. If Harry hadn't been injured, he wouldn't have to use a wheelchair.
5. If Joan had not worked so hard, she might not have become a vice-president of the company.

伝染病 (Epidemic)

練習問題 A

1. For example
2. Because of
3. Therefore
4. Therefore
5. for example
6. If

練習問題 B

1. has made
2. wears
3. have made
4. are

練習問題 C

polio (2)

E. Coli (3)

antibiotics (5)

tuberculosis (4)

HIV (1)

位置関係と時間の経過 (Space and Time Sequences)

練習問題 A

Jeff, Nicole, blank, Kathy, S haron, David, Jimmy

練習問題 B

(a)

1. S haron
2. Jeff
3. Nicole

(b)

- 1 Nicole
2. S haron
3. Jeff

(c) Order: 2, 4, 1, 3

(d) Order: 4, 1, 2, 3

Copyright © 2003 DynEd International, Inc. All rights reserved.

QuickTime™とQuickTimeロゴは法的に使用許可を得た商標です。

Version 3.0

1/ 00